



◎道路功績者の表彰

本會道路功績者表彰規程により左の通表彰、關係地方廳にそれぞれ傳達方を依頼した。

三月二十六日表彰

表彰狀 奈良縣吉野郡白銀村白銀村北部道路愛護會

三月二十七日表彰

表彰狀 二等功績章 單杯

德島縣修路工夫 正田 官次郎

同 同 祖父江善兵衛

同 同 光山 金藏

同 同 同
先川 菊市
紅露 賢太郎
多田 一男

三月二十七日表彰

表彰狀 二等功績章 單杯

富山縣道路工夫 井上 太次

同 同 森木 定次郎

表彰狀 富山縣中新川郡上條村道路愛護會

◎全國砂防協會の創立

昭和十一年初めて全國治水砂防協會が設立せられ爾來三十五府縣に支部を設けられ、市町村の加入は二千五百九十に及び益々擴張の情勢を呈したので、昭和十五年二月二十五日鐵道協會に於て社團法人設立總會が開かれて遂に其の成立を見るに至つた。會長は末次信正海軍大將、理事長は衆議院議員植原悦二郎、理事は今井梧樓外十二氏が各其の任に當らることとなつた。尙其の設立の趣意は次の通で

ある。「水土を平げ百穀を播き以て生活の安泰を計り利用厚生
の道を究め敢て中原に力屈くるなく内家に虚しからしむ
るなきは政治の大本にして興亞大業の源泉亦こゝに發すと
言はざるべからず。

由來治水の要諦は治山にあり、天和三年畿内の治河を策
するに當り諸川水源に砂防工事を施し、降て大正末年に至
る間、時に事業の消長あれども未だ技熟せず事績の顯揚す
べきもの尠なく、勢ひ世人の之が關心缺如する所甚し、然
るに昭和に至り其の施設を改むるに及びて面目更新し連年
顯出する災害を良く防止輕減し、本事業が抜本塞源治水の
根本として極めて緊要たるを如實に指示するに至れり。

政府は此に着目して思を永くし昭和十四年度より銳意本
事業の擴充を圖る。此の秋に際し同志胥謀つて爰に全國有
志を糾合し、相共に砂防政策の研究調査を遂げ益々國民の
輿論を喚起し或は當局に進言し或は公論に訴へ政府の事業
と策應して洪水滔天の患を除かんとす、同感の士庶幾は此
の舉を翼賛せられ本會の目的達成に力を致されんことを」

◎土木學會役員の交迭

土木學會に於ては會長任期満了に付改選したる處左之通
新任又留任することとなつた。

會長 (新任) 男爵 中村謙一

副會長 (留任) 谷口三郎

同 (新任) 工學博士 吉田徳次郎

◎成田常務理事の嚴父

本會常務理事内務省土木局長成田一郎氏の嚴父喜十郎氏
は目黒區富士見臺一五六七の自宅で療養中八日午後零時半
死去せられた、享年七十。

◎正木直彦氏逝去

前東京美術學校校長正木直彦氏は一月中旬より肺炎を患ひ
牛込區矢來町三三の自宅で療養中三月二日午前零時半逝去
せられた、享年七十九。

◎近刊圖書雜誌

○早稻田建築學報 (第一六號)

(Journal of Architecture of Waseda University)

本號には木村幸一郎氏の「室内畫光照度の變化に」(S. C.)
大原喜八郎氏の「空襲管制時に於ける商店内環境調査」
南文次郎氏の「熔接棒の良否による熔接部の機械的諸性質の比較、附火花形電氣抵抗衝合熔接の機械的性質」其他卒業生の計畫及び論文梗概が掲載せられ斯道の好資料
また興味深き材料が編輯せられて居る。

○汎交通 (二、三月號)

(獨逸に於ける戦時下の交通状態がヨルン・レオ氏に依つて鐵道自動車等に關する記事が載せられて居る)

○大阪商工會議所月報 (第三九三、第三九四號)

(東大教授荒木光太郎氏) 最近に於ける獨逸經濟事情。

「物價調整の現状」

○法律時報 (第一二卷三號)

(磯崎辰五郎) 獨逸市町村制に於ける名譽公民權と名譽表章)

○土木工業 (第二卷二號)

(菅原恒覽氏) 土木工業協會の使命達成に就(S. C.)

○駿工 (第一六卷一號)

(瀧善哉氏) 大陸開發の技術的認識)

○セメントコンクリート道路 (五九) 第八回萬國道路會議

報下」

○港灣 (第一八卷三號)

○自警 (二、三月號)

○セメント界彙報 (第三八四號)

○清和 (第七卷二號)

○都市問題 (第三〇卷三號)

○企畫 (第三卷第一號)

○都市公論 (第二三卷三號)

○紀元二千六百年 (三月號)

○三田學會雜誌 (第三四卷二號)

(増井幸雄氏) 自動車運送能力の擴大に就て)

○土木試験所報告 (第五〇號)

構成に關する一考察)

(西川榮三松本榮兩氏) アスファルト混合物類の抽出溶液よりアスファルトの回收方法に關する研究、山田元、

船山時雄兩氏) 砂利道と土砂道との路面耐力の増進工法

に關する比較試験)

○觀光聯盟情報 (第四卷二號)

○土木 (第五六號、奈良支部特輯)

○土木試驗所彙報 (第一〇號)

(支那の道路及道路運輸に關する調査資料)

○水利と土木 (第一三卷三號)

○道路 (三月號)

○土木學會誌 (第二六卷二、三號)

(八田嘉明氏) 時間と土木)

○乗合自動車 (二月號)

○鐵道軌道經營資料 (二月號)

○建設 (第五卷一號)

○警察協會雜誌 (三月號)

(內務事務官溝淵增巳氏) 電力問題が訓へた教訓)

○斯民 (第三五編三號)

(三好重夫氏) 地方分與稅案要綱、柏村信雄氏) 市會の

開發道路に就いて、三浦久藏氏) 奈良縣下の御陵參拜道路改良工事概要)

紅 朗

春の海一帆晴れて曉の雲
村の丘墓標新たに散る櫻
墓地に遊ぶ遺兒等の群に落花かな
海晴れて島近し土筆つむ兒等
病室にあき瓶一つ梅かほる
暮るゝ野に若き尼僧や夕櫻
波靜か砂の伏起や落椿